

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

会長就任のご挨拶



公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会
会長 神山清志

会員、賛助会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より当会の運営・活動にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

6月8日に開催されました平成30年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会定時会員総会におきまして役員の改選が行われ、引き続き行われました理事会にて津田聡一郎前会長の後任として、私神山清志が会長(代表理事)に選定されたことをご報告申し上げます。

当会は、昭和28年に埼玉県細菌・病理試験技術者会として発足し、昭和60年に特例民法法人である社団法人埼玉県臨床衛生検査技師会となり、平成26年1月に公益社団法人埼玉県臨床検査技師会へと変遷しています。その間、17名の会長のリーダーシップのもとで会が健全に成長し続けていることは諸先輩方の努力の賜であることと敬服いたしております。

医療の世界は厳しさが増す一方であり、われわれ臨床検査領域も同じです。物価や人件費や税金が上がる反面、診療報酬は引き下げの連続です。そして、今後確実にやってくる超高齢化社会では生産人口の低下により医療財源も乏しくなることは明白です。そのような状況が目の前に迫っている中で私たちは何をすべきでしょうか?幸いにも私たちの仕事は黙って部屋の中で検査をするといった一昔前の姿から、積極的に外に出て検査をする体系に変わってきています。しかし、臨床検査技師は私たちが思っているほど社会的には認知されていません。国民が健康で健やかな老後を過ごせるように生活習慣病対策や、健康寿命を延ばすための啓発活動等を積極的に実践して、さらには、検査説明や検体採取を介して臨床検査技師が、顔が見え、認知され、さらに必要とされる職種となるよう技師会運営に努めていきたいと考えます。

私事で恐縮ですが、平成13年に理事会の末席を汚す身となり、主に精度管理、学術を担当し平成21年より副会長を努めてまいりました。私が理事になった当時の会員数は約1,500名でしたが18年が経過した現在、3,000名の大台に乗ることはほぼ確定と思われれます。大所帯となった埼臨技の舵取り役を担うには荷が重いのが事実ですが、諸先輩方が築き上げた埼臨技をさらに発展させられるように、安定的な会務運営と、建設的な事業展開に誠意努力する所存です。

会員、賛助会員、関係官庁、各団体の皆様方のご理解・ご協力を切に望み、会長就任の挨拶とさせていただきます。

平成30年度 定時会員総会が開催される

平成30年度定時会員総会が平成30年6月8日(金)大宮ソニックシティ906号室にて開催された。本総会の審議内容は、平成29年度事業報告、収支決算報告、監査報告、第47回埼玉県医学検査学会学会長選出および平成30・31年度理事の選任についてであった。総会は小山博史事務局次長の進行で、津田聡一郎会長の挨拶で始まり、続いて砂川進氏、原繁一氏、野本幸雄氏、前原光江氏の各名誉会員の紹介があった。

総会に先立ち各賞表彰式が行われ、平成29年度埼臨技功労賞が第54回日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会長の津田聡一郎氏に授与された。永年会員表彰は63名の会員が該当し、総会では5名が表彰された。続いて埼臨技会誌優秀論文賞が鳥山満編集委員長より発表され、飯野望氏(埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科)の論文『急性骨髄性白血病患者における「WT1アッセイ」を用いた早期再発予測の有用性』が受賞した。受賞された方々に謹んでお祝いを申し上げたい。

総会は議案審議に先立って石橋佳朋氏(東武医学技術専門学校)が議長に選出され、石橋議長により総会役員が指名された。資格審査委員は猪浦一人理事、東部地区から石井千晴氏(越谷市立病院)、南部地区から柿沼智史氏(川口市立医療センター)、西部地区から大出淳氏(埼玉医科大学総合医療センター)、北部地区から田中亜紀氏(熊谷総合病院)が任命され、資格審査委員長には委員の互選により猪浦理事が選出された。また、書記は宮城遥氏(さいたま赤十字病院)と飯塚桂子氏(東武医学技術専門学校)が、議事録署名人には長谷川隆氏(浦和医師会メディカルセンター)と関口久男氏(埼玉県済生会栗橋病院)がそれぞれ任命された。その後、石橋議長は「18時30分現在の出席者数85名、委任状出席者数1,853名、議決権行使書数249名で、合計2,187名であり、本通常総会を構成する会員数は6月5日現在の会員数は2,988名で、現在の出席者数は総会審議のための必要出席者数である1/2を超えており、『定款』第18条の規定により本総会は成立している。」と宣言された(最終の出席者数は113名、委任状出席者数は1,853名、議決権行使書数は249名、合計2,215名)。



議事審議は、最初に猪浦資格審査委員長より、議事日程が提案された。それに沿い石橋議長の進行により審議が始まり、第一号議案の平成29年度事業報告について津田会長、神山清志副会長、岡田茂治副会長から、第二号議案の収支決算について松岡優会計部長から、監査については遠藤敏彦監事より報告があった。質疑などはなく満場一致で可決された。第三号議案の第47回埼玉県医学検査学会学会長選出は、津田会長より来住野修氏(埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科)を推薦する旨の提案があり、異議なく承認された。都合により欠席された来住野氏に代わり奈良豊総務部長

議事審議は、最初に猪浦資格審査委員長より、議事日程が提案された。それに沿い石橋議長の進行により審議が始まり、第一号議案の平成29年度事業報告について津田会長、神山清志副会長、岡田茂治副会長から、第二号議案の収支決算について松岡優会計部長から、監査については遠藤敏彦監事より報告があった。質疑などはなく満場一致で可決された。第三号議案の第47回埼玉県医学検査学会学会長選出は、津田会長より来住野修氏(埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科)を推薦する旨の提案があり、異議なく承認された。都合により欠席された来住野氏に代わり奈良豊総務部長



埼臨技功労賞



永年会員表彰



埼臨技会誌優秀論文賞

会長に神山清志氏が選任され会員の皆様へ挨拶があった。最後に今回の総会をもって退任される津田会長、島村副会長、武関理事、藤井理事より挨拶があり全ての日程が終了となった。

本総会が円滑に開催できたのは、石橋議長の円滑な進行と総会役員、出席者の協力および多くの会員の皆様からの委任状協力によるものです。この場をお借りし厚く御礼を申し上げます。また、退任される理事におかれましては、長きに渡り埼臨技運営にご尽力いただきありがとうございます。(文責：長岡勇吾)

が挨拶を行った。続いて、第四号議案の平成30・31年度理事の選任について津田会長より提案説明が行われ、神戸考裕氏(日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所)、菊池裕子氏(医療法人社団愛友会上尾中央総合病院)、笹野勝年氏(熊谷総合病院)の新任理事3名が加わった21名の理事が承認され、すべての議案が可決された。

総会終了後、藤井豊善氏(蕨市立病院)進行の下、第46回埼玉県医学検査学会長の鈴木英之氏より学会からのお知らせ、各研究班より平成30・31年度研究班員の紹介が行われた。同時に行われていた新理事による平成30年度第3回理事会にて新

求人案内

○フクダ電子西関東販売株式会社

採用条件：臨時職員(パート) 嘱託職員
連絡先：048-710-2265 管理課 加賀

○医療法人社団 協友会 メディカルトピア草加病院

採用条件：正職員
連絡先：048-928-3117
総務人事課 角(すみ)

○まつもと糖尿病クリニック

採用条件：臨時職員(パート)
連絡先：048-775-2222
事務長 松本美紀

○医療法人社団 生全会 池袋病院

採用条件：正職員 臨時職員(パート)
連絡先：03-3987-2431 加藤和生

○医療法人社団 全仁会 東都春日部病院

採用条件：正職員 臨時職員(パート)
連絡先：048-739-2000 事務長 東海林

○一般社団法人 巨樹の会 所沢明生病院

採用条件：臨時職員(パート)
連絡先：04-2928-9110 総務課 三次

○越谷市立病院

採用条件：正職員 平成31年4月1日採用
臨時職員(パート) 随時
連絡先：048-965-2221 内線2201
臨床検査科 渋谷

○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員 臨時職員(パート)
連絡先：048-645-1256 本部長 星野

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 2018-2019年度 役員名簿

役 務 担 当	氏 名	施 設 名
会 長	神山 清志	一般社団法人 浦和医師会メディカルセンター
副会長	岡田 茂治	埼玉県立がんセンター
副会長	矢作 強志	川口市立医療センター
副会長	松岡 優	埼玉医科大学病院
事務局長(常務理事)	小山 博史	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター
事務局次長(常務理事)	濱本 隆明	防衛医科大学校病院
総務部長(常務理事)	奈良 豊	埼玉医科大学総合医療センター
総務部	長岡 勇吾	さいたま赤十字病院
総務部	小島 徳子	医療法人社団愛友会 蓮田一心会病院
総務部	神嶋 敏子	埼玉県立小児医療センター
総務部	菊池 裕子	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
事業部長(常務理事)	長澤 英一郎	さいたま市立病院
事業部	伊藤 恵子	東武医学技術専門学校
事業部	濱田 昇一	医療法人社団協友会 メディカルトピア草加病院
事業部	笹野 勝年	医療法人 熊谷総合病院
会計部	石井 直美	越谷市立病院
会計部	神戸 考裕	関東甲信ブロック血液センター 埼玉製造所
学術部長(常務理事)	山口 純也	埼玉県済生会川口総合病院
学術副部長	鳥山 満	獨協医科大学埼玉医療センター
学術部	猪浦 一人	埼玉県済生会栗橋病院
学術部(会計部兼務)	阿部 健一郎	深谷赤十字病院
精度保証部長(常務理事)	猪浦 一人	埼玉県済生会栗橋病院
監 事	遠藤 敏彦	株式会社 ピーシエルジャパン 病理細胞診センター
監 事	細谷 博光	細谷会計事務所



◆ 新任理事の自己紹介



日本赤十字社
関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所
神戸 考裕

この度、埼玉県臨床検査技師会理事を拝命しました神戸考裕と申します。理事の方々とは昨年の関甲信支部・首都圏支部医学検査学会（第54回）の実行委員として活動したことが思い出されます。今回、理事という大役で身の引き締まる思いであります。今回は理事として一緒に活動できることを嬉しく思っております。埼玉県臨床検査技師会の発展に寄与できるよう微力ながら、努めてまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



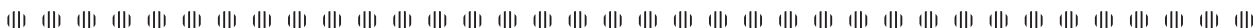
医療法人 熊谷総合病院
笹野 勝年

この度、埼玉県臨床検査技師会理事を務めさせていただくことになりました医療法人熊谷総合病院の笹野勝年と申します。何もわからない新人理事で、これから学ばせていただきたいと思っております。微力ではありますが、会員の皆様のお役に立てるよう、頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



上尾中央総合病院
菊池 裕子

この度、埼玉県臨床検査技師会理事を拝命いたしました菊池裕子と申します。総務部（学会・埼臨技だより）を担当させていただくこととなりました。当会の更なる発展と会員の皆様のお役に立てるよう、全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い致します。



第46回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：平成30年12月2日(日)

会 場：大宮ソニックシティ

テーマ：『^{ひら}拓く』

サブテーマ：～手を広げ、見て、聞いて、知って、覚えて、繋がって～



第46回埼玉県医学検査学会

『初めての学会発表』

第46回埼玉県医学検査学会
学術部 岩崎 篤史

第46回埼玉県医学検査学会実行委員の岩崎篤史と申します。私は第44回埼玉県医学検査学会で初めて学会発表をさせていただきました。今回はそのときの体験で感じたことをお話ししたいと思います。

発表テーマは生化学分析装置JCA-BM6070を用いた血清及び尿の混在分析についてです。当院では生化学項目と尿化学項目を同一の分析装置で測定しています。血清と尿検体では測定される成分濃度が異なるため、わずかなキャリーオーバーが他検体種別の測定結果に影響を与える可能性があり、混在分析運用の妥当性について検討し発表することになりました。発表のための検討やスライド作成は日常業務と並行して進めていきましたので、精神的、体力的に大変だった記憶があります。検討を行う中で疑問に思ったことは1人で悩まず、同じ部署の上司や先輩に相談しながら進めました。私が発表に向けて準備をしていく中で特に大切だと感じたのは、検査部内の予演会でした。他部署の技師に向けて発表をすることで、自分では気がつかないような異なる分野からの意見を取り入れることができ、とても勉強になりました。学会当日は聞き手に分かりやすく伝えることを意識して発表を行いました。事前にしっかりと準備をしていたので、比較的スムーズに発表が出来たと思います。学会当日までの準備は非常に大変でしたが、終わってみると達成感がありとても有意義な経験となりました。

最後になりますが、第46回埼玉県医学検査学会が初めての学会発表になる方も多いと思います。発表される方々が発表してよかったと思える学会を開催できるよう、実行委員として努力していきたいと思います。

第46回埼玉県医学検査学会 運営部 小澤 史佳

第46回埼玉県医学検査学会実行委員の小澤史佳と申します。今回は、『初めての学会発表』について投稿させていただきたいと思います。

私の初めての学会発表は、第43回埼玉県医学検査学会でした。学会で発表することを漠然と決めたものの、テーマも決まらず何から手をつけていいのか分からない状態でした。きっと同じように悩んでいる方が沢山いるのではないかなと思います。しかし、日々の業務のなかで、質問をされて困ったこと、自分が疑問に思うこと、どんな小さなことでもいいので調べてみるとテーマに繋がっていくのではないかと思います。

私は、「小児ネフローゼ症候群のリンパ球サブセットから学んだ一考察」という演題で発表を行いました。医師から検査結果についての問い合わせがあったことをきっかけに、過去のデータを見直すことから始めました。医師からは、現在の患者様の状況や薬剤の投与状況など臨床側の見解を聞くことができました。正直なところ、データの再解析の量も多く、その後の抄録・スライド作成も上司からアドバイスをもらいながら行い、とても大変でした。人前に立つことが苦手な私は、発表も冷や汗をかきながら行ったことを今でも鮮明に覚えています。しかし、学会発表を行うことで多くの知識、論文検索方法など、現在にも生かしていることを沢山得られたと感じています。

皆様もこれからスライドの作成や発表の練習など大変かと思いますが、私も実行委員として皆様の発表が円滑に進むよう努力してまいります。



お知らせ

埼臨技事務所の夏季休暇について

平成30年8月13日(月)～17日(金)

上記期間は事務所はお休みになります。

各研究班の研修会報告を致します。

テーマ **これから学会発表する人必見!! ～演題発表と論文の書き方のコツ～**

主催 微生物検査研究班

実施日時：平成30年 5月25日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科－20点

講 師：大楠 清文（東京医科大学 微生物学分野 教授）

参加人数：会員91名 賛助会員4名

出席した研究班班員：渡辺典之 砂押克彦 永野栄子 牧俊一 酒井利育 森圭介 小棚雅寛
毛利光希 今井芙美 千葉明日香

研修内容・感想など

今回は「演題発表と論文の書き方のコツ」というテーマで大楠氏に講演していただいた。

演題発表は抄録の書き方やスライド作成のコツ、論文では学会発表との違いやタイトルの付け方、書き方、掲載されるまでのプロセスについて具体例を挙げて説明していただいた。

文章を書く時には、いろいろな情報を一つの文章に詰め込んでしまいがちだが、短い文章にすること。文の前半と後半をかみ合わせる。修飾語は修飾する言葉の近くにおくことなど、文章自体のテクニックも教えていただいた。また、論文では使用しない言葉と書き換える言葉、漢字ではなくひらがなにする言葉、誤ってしまいがちな言葉や表現など文章の基本も説明していただいた。

抄録や論文は、「積極的にまねをすること」と話された。まねたいと感じる抄録や論文を探し、構造や文章をまねる。表現を拝借して、コピー・ペーストではなく自分の言いたいことに合うように作り変えること。抄録・論文作成は、いろいろな抄録や論文を取り寄せて、それらを読み込むことから始まる。抄録を幅広く進めていくと論文を作成できると話され、学会発表後、論文掲載していない私には耳の痛い言葉だった。

各学会や団体が認める専門分野の認定資格がある。認定資格の中には、関連する実務経験年数だけでなく、学会での発表、論文の発表を受験の条件としているものが多い。認定微生物検査技師は、微生物学に関する筆頭者としての学会発表が3回以上、筆頭論文が1編以上あることが条件になっている。今回、抄録と論文の一部、7例分の校正前と校正後の資料を配布していただいた。

今回の研修会は、今後の学会発表や論文作成にとっても役立つ有意義な内容であった。

(文責：永野栄子)

テーマ **わかりやすい輸血検査の基礎と知識の応用**

－ 実技に関する事前講習会 初級者・中級者

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成30年 6月1日 19時00分～21時00分

会 場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：専門教科－20点

講 演 1：血液型・不規則抗体検査

講 師：渡邊 一儀（獨協医科大学埼玉医療センター）

講 演 2：カラム凝集法・抗体解離（酸解離）

講 師：小林 真弓（埼玉協同病院）

参加人数：会員82名 非会員1名

出席した研究班班員：山田攻 渡邊一儀 久保居由紀子 伊藤佳世 小林真弓

研修内容・感想など

7月1日開催の実技研修の事前講習会として、血液型・不規則抗体検査、カラム凝集法・抗体解離（酸解離）について講演が行われた。

血液型・不規則抗体検査の講演では、適切な輸血検査を進めるための準備として、器材・試薬・サンプルの確認や自施設で使用しているスポイトの滴下量等の確認等、検査の手技同様に『検査のための準備』の重要性について説明があった。また、赤血球型検査ガイドライン、輸血のための検査マニュアル等に沿っての操作の説明および輸血検査で遭遇する異常反応への対応について講演していただいた。

カラム凝集法・抗体解離試験の講演では、カラム凝集法の原理やエアギャップの作成についての詳細の説明および異常反応症例について写真で説明していただき、カラムを観察する際のポイントを学ぶことができた。抗体解離については、直接抗グロブリン試験の検査意義や結果の解釈および実技研修会で行う酸解離法の原理や操作手順について講演していただいた。

基礎的な内容であったため、日当直でしか輸血検査に携わらない技師にでも解り易い内容であった。今回の研修の内容を踏まえ、実技研修会に望んでいただければ、今後の業務に多に活かされると思われた。
(文責：久保居由紀子)

テーマ 生理検査研究班CD-ROMサーベイ2017報告会

主催 生理検査研究班

実施日時：平成30年6月9日 13時30分～16時40分

会場：鴻巣市市民活動センター 会議室C 点数：専門教科－20点

報告 1：脳波・神経

報告 2：肺機能

報告 3：心電図

報告 4：乳腺エコー

報告 5：腹部エコー

報告 6：血管エコー

報告 7：心エコー

報告 8：アンケート

参加人数：会員25名

出席した研究班班員：早川勇樹 仲野浩 瀧澤義教 家城正和 野本隆之 田名見里恵
武藤由里子 横尾愛

研修内容・感想など

今回の研修会は2017年度の生理検査研究班のCD-ROMサーベイの解説を踏まえた報告会を行った。サーベイと同時に行ったアンケートには、問題が難しいため詳細な解説が聞きたいというご意見もあり、各検査ごとに担当の研究班員による詳細な解説が行われた。新たに改訂になったガイドラインの解説や変更になった用語・単語についても説明がなされた。さらに、現行ではサーベイの結果による各施設の評価は行っていないが、今後施設ごとの評価を実施したほうが良いか等の意見を会場に伺った。また、CD-ROMサーベイの発送時期や設問の動画の動作不良についてもアンケートでご指摘があったため、研究班内でも発送時期の変更や、サーベイの問題をCD-ROM以外のメディアにおける発信の検討も今後の研究班の課題としていることをお伝えした。

今回のサーベイ結果を踏まえて、各施設において不正解であった箇所を再確認し、今後の業務に活用していただければ幸いである。

(文責：横尾 愛)

平成30年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第4回 理事会議事録

日 時：平成30年6月14日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事) 神山 矢作 松岡 濱本 奈良
長岡 小島 神嶋 菊池 長澤
伊藤 濱田 笹野 石井 神戸
山口 鳥山 猪浦 阿部

(監事) 遠藤

欠 席：(理事) 岡田 小山

(監事) 細谷

本日の理事会の出席者は20名であった。理事の出席者は19名で、現在数21名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (平成30年5月10日～平成30年6月14日)

5月10日(木)平成30年度第2回理事会：

津田、神山、矢作、小山、奈良、猪浦、松岡、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、鳥山、阿部、遠藤

5月18日(金)第46回埼玉県医学検査学会第7回実行委員会：長岡、神嶋

5月21日(月)第1回ホームページ委員会：

小山、奈良、矢作、濱本

5月29日(火)国税・県税・市税納税証明書発行手続き：神山、小山

6月8日(金)平成30年度定時会員総会：

津田、神山、鳥山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、武関、阿部、神戸、菊池、笹野、遠藤、細谷

6月8日(金)平成30年度第3回理事会：

神山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、

濱本、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、阿部、神戸、菊池、笹野、遠藤、細谷

6月11日(月)埼玉県法務局へ登記申請に関する相談：小山

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

- 1) 5月18日、平成30年度埼玉県公衆衛生事業県知事表彰候補者について県へ報告した。
- 2) 6月8日、平成30年度定時会員総会を開催した。
- 3) 6月11日、埼玉県法務局にて小山理事、山下係長(オブザーバー)が登記申請に関する相談を行った。
- 4) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018さいたまの後援を行った。

2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第469号、6月15日発行予定
- 2) 5月21日、第1回ホームページ委員会を開催した。

3 事業部

- 1) わらび健康まつりの実行委員に長澤理事を推薦した。
- 2) 第13回深谷市福祉健康まつり第1回実行委員会開催通知が届いた。
- 3) 平成30年度全国「検査と健康展」の企画書を日臨技へ提出した。

4 学術部

- 1) 平成30年度理事・研究班合同会議を6月29日、さいたま赤十字病院会議室にて開催予定。

5 精度保証部

- 1) 特になし。

6 会計部

- 1) 平成30年度正会員費56名分280,000円、入会金35名分35,000円、合計315,000円の入金があった。
- 2) 生涯教育推進研修会助成金50,000円×2研修会、合計100,000円の入金があった。
- 3) ㈱サンメディアより、埼臨技会誌複写使用許諾金1,782円(11件分)の振込があった。
- 4) ㈱メテオより、埼臨技会誌包括使用著作権使用料5,000円の振込があった。
- 5) 石井印刷へ、埼臨技だより第468号印刷代87,383円を支払った。
- 6) 平成30年度分会費5,000円×3名分、合計

15,000円を退会会員に振込んだ。

7 精度管理委員会

1) 特になし。

8 一都八県会長会議

1) 特になし。

9 日臨技関甲信支部

1) 日臨技平成30年度関甲信支部・首都圏支部医学検査学会(第55回)より、一般演題募集についての依頼があった。

10 日臨技

1) 特になし。

11 第46回埼玉県医学検査学会

1) 5月18日、第7回実行委員会が開催された。

III. 承認事項

1 事務局

1) 会員動向(平成29年度分)

平成30年6月5日現在
会員数 2,988名[平成29年度会員数2,897名]
(新入会員 176名)

賛助会員 53社[平成29年度 86社]
承認された。

2) 平成30年・31年度役務について

神山清志会長より各理事の役務担当について発言があり承認された。また、副会長の序列についても、岡田茂治、矢作強志、松岡優とする事を承認された。

3) 平成30年度理事会開催日について
承認された。

4) 埼臨技事務所夏期休暇について

平成30年8月13日(月)～17日(金)とする事を承認された。

2 総務部

1) 特になし。

3 事業部

1) 特になし。

4 学術部

1) 特になし。

5 精度保証部

1) 特になし。

6 会計部

1) 特になし。

7 精度管理委員会

1) 埼玉県医師会精度管理委員について承認された。

8 第46回埼玉県医学検査学会

1) 特になし。

IV. 議題

1) 平成30年度初級・職能開発講習会実施について

矢作副会長より平成30年度初級・職能開発講習会実施について発言があった。これを受けて理事会審議の結果、担当部署を総務部とし出席理事全会一致で承認された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

このあしがきを書いている時期に、梅雨明けが宣言されました。梅雨の時期に心配していたことが自宅の雨漏りでした。築30年位経過している自宅ですが、ある時寝室天井から冷たい水滴が顔にポトリと！急いで寝具を避難させ、ブルーシートを敷き、経過を見守るということを数回繰り返しています。早く修繕すればいいじゃないということなのですが、築30年も経過すると、雨漏り部分だけでなく、あちこち傷みが目立ち、それならリフォームか！と決意し、そのことが逆に雨漏り部分だけを修繕することにストップをかけてしまっているというお粗末な状況となっています。家のメンテナンスは万全とは言えないまでも時期を見て行ってきたつもりですが、老朽化には勝てず・・・といったところでしょうか？

修繕か、リフォームか、ともかく雨漏り原因部分が直るまで、激しい雨が降らないことを祈る今日この頃です。

(長岡 記)

